

占春会報

第7号

発行 八尾市柏村 169-3 八尾市立清友高校
占春会事務局 TEL (0729) 22-2067



全国津々浦々に活躍される

卒業生のみなさまに

会長 河合聿子(旧村田)
勉学にスポーツに青春の情熱を燃やしておられた、清友高校時代を思い出して下さい。

は、看板の書き換え、五十二年には、校舎移転という段階にまで、話が進められました。大変嬉しいことでございます。

憶えていますか。
今は学校前の川沿いの桜の花が満開です。中庭の芝生の緑も芽を吹き始めました。皆様の手許にこの会報がとどく頃は、花壇の花々もすっかり咲き揃っていることでしょう。

創立以来三十四年の古い歴史を綴る清友高校、六千人に近い卒業生が社会に送り出され、皆様の活躍されている範囲も随分広くなつてきているようです。海外にまで進出して活躍されている方も出始めました。

今年には母校も大きく転回するようです。富田校長先生のご引退、小西教頭先生の校長ご就任、安田先生の教頭ご就任、重大ニュースの多い会報七号をしっかりと読んで下さい。

どちらに行かれてましても、皆様は清友の卒業生である事を誇りとして、きびしい寒さに耐えしのぶ梅の花の如く、清らかな流れの水の如く、心豊かな人生を送って下さる事をのぞみます。

先生方、PTA、占春会、清苑会とで、たゆみなく運動が続けられて来た府立移管問題も、八尾市の絶大な協力を得て、五十一年に

最後に、五十一年府立移管、五十二年校舎建設完成まで、後一押しのみなさまの応援と協力をお願いして、ご挨拶いたします。

新入会員歓迎 総会御案内

5月25日(日) 午後1時～

一部 総会

校長あいさつ

会長あいさつ

新入会員あいさつ

決算報告

二部 新旧校長歓送迎会

富田前校長あいさつ

小西新校長あいさつ

総会終了後場所をかえて歓送迎会を
持ちますので、詳しくは3頁をごらん下さい。

新旧校長先生

富田八郎前校長先生



おわかれの日が来たと思うと、ぐっと来た。河合会長のお嬢さんの入学式の日が、私の退任の日である。十年三カ月の在任中は決して長いものとは思えないが、思いがいろいろあった。苦しいことや楽しいことが、走馬灯のように廻

って、今でも心の整理が出来ていない。しかし、現在の生徒はむろんのこと卒業生の皆様が、私の最も近いもの、いうならば娘のように感じて、楽な気持ちで話し合えた。私は娘を持たなかったせい

いると自慢にしている。ことに今年卒業式には証書を渡した後に一人一人握手しました。そして小声で「元気でね」というと「先生もお身体に気をつけて」といわれた時は何かこみあげるものがあった。二百六十五名一人々々の小さな短い対話ではあったが、私の生涯の中でも最も輝かしい思い出となると思う。P.T.A.の方々の感想を聞いて見ると、娘たちが「今日ほど清友高校へ来てよかったです」と

「たことは無い」といつていたといわれ、かえって私たちの未だ至らなかつた日頃の指導を恥じると共に私もたとえ、学校を去つたとしても皆さんの暖い気持を大切にしていふことに気持のほりが出来たように思う。別れはつらい。し

かし清友高校はもつと伸びねばならない。私は近く実現する大阪府立移管についてはどうしても、市・府との約束を一日でも早くしてくるよう陰ながら努力することを心にきめて動いています。皆さんも必ず同調して下さると思いま

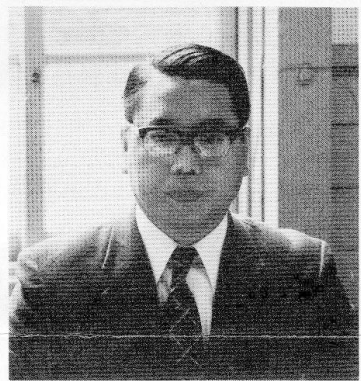
さよならとはいわないよ

す。P.T.A.の方々も静かではありませんが、市長や助役などと絶えず連絡をとって約束を守って下さるようつとめたいと思っています。未だ清友高校をやめたという実感がわいて来ません。只私は今でも又将来も生命のあるかぎり清友の仲間として扱って下さい。占春会のメンバーに入れて下さい。むつかしいことはいえない。

梅花にシンボライズされた清友高校の「香りゆかしいおとめ子」へのロマンチックな夢を六十四才の青年の夢と笑わないで下さい。月がたつと、私の身辺にも史書を書き続ける静かな時がめぐって来るとは思いますが、今は只清友高校即占春会のよい思い出を独りじっくり味いたい気持で一杯です。在校生も、先生方ともごく自然に握手してと手をさしのべてくれました。不断は雑談ばかりして、私の話をきいてくれなかつた娘たちが、花策をくれ中央から退場した恥かしい気持、私の色紙は「清友相睦」とかきました。皆さんとの再会がまちどおしい。

さよならとはいわないよ。いつどこであつても、美しい夢を大切にしたいと思う。私はしあわせ者だと思ふ。娘たちのために今後共に何かお役に立つことがあつたら。芹洋子さんの「愛の国から幸福へ」のあまいメロデーをもう一度ききたい。

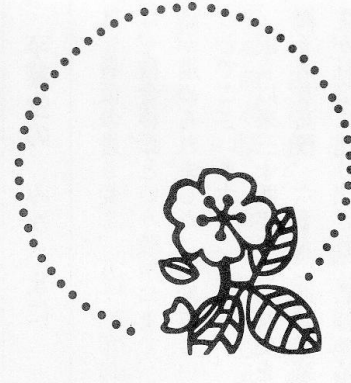
小西康弘新校長先生



私このたびはからずも清友高等学校校長を命ぜられました。今迄の立派な校長先生に比べると全く未熟なものでございますが、それに懸念に清友高校発展の為に尽したいと考えています。幸い府立移管問題も、前富田校長先生をはじめとした、市当局、P.T.A.、占春会の方々の御努力により、一応軌道にのり、五十一年四月移管をめぐし、あとは事務的な段階にまでこぎつけることができました。とは、有難いことでございます。

清友高校も既に創立以来三十四年を経過、その間六千名近い卒業生諸姉を数えますが、この清友高校の伝統を守り、更に発展させるためにも、益々その責任の重大さを感じています。このほど校長室に初代生田校長先生、二代吉持校長先生、三代富田校長先生の肖像が掲額されましたが、それぞれの先生

頭の下がる思いがいたします。最近では教育も価値観の違いなどから教育現場になにかと混乱が起きていますが、幸い清友高校では職員が一丸となり、生徒指導に当たっておりますし、その中で生徒達は、自由でのびやかな雰囲気を楽しんでおります。しかし一方では、近年進学者も増加している現状から、学習指導の面でも他校に劣らないよう配慮を加え、勉学に対する厳しさも、一層植えつけていかなばならないと考えています。いづれにせよ、府立移管を目前にした清友高校としては、校章に示される流水に紅梅の精神を忘れず、いままでの良き伝統を守ると共に、新しい時代に即応する態勢をきづいていきたいと考えています。清友高校が卒業生皆様にとつて、いつまでも懐かしい母校であり、いつでも気軽に訪ねてこられる学校でありたいと思っています。校長室にも、遠慮なくいつでも自由にお訪ね下さい。最後に、卒業生皆様の一層の御活躍と御多幸を祈念して御挨拶いたします。



占春会の 皆様へ

安田 圭造

生駒嶺の春雪も消え、中庭の芝生のみどりが日ごとに鮮かさを増す季節がやってきました。占春会の皆様にはお変わりございませんか。それぞれの道で御活躍のことと存じます。

私が学園当時の本校に赴任致しましたのは昭和三十年十一月でした。それから約二十年、学校は有為転変の歴史をたどりながら現在の清友高校へと隆盛、発表して参りました。赴任当時「走れ」と生徒達にどなって一緒に高安の駅から学校まで走った青年教師も、今では髪に白いものが目立つ年頃になってしまいました。住いも三重県名張市の桔梗丘に転宅し、学校からも遠くなり、春先ともなると土いじりが出来るもので、日曜日は忙しく、ついつい心ならずも占春会の会合等にも欠席し勝ちとなり失礼致しております。

さて、この度、校長富田先生の御退職、教頭小西先生の校長御昇任にともない、四月一日付をもって教頭に命ぜられました。今年本校の府移管問題にとつても特に

重要な年であると思いますが、この時期に教頭を命ぜられるということは天の命であると心得え、微力ながら小西校長先生と力を合せ、清友のよき伝統を守り輝かしい発展への努力を致す覚悟でございます。何かと御協力、御支援をいただきますがよろしくお願い申し上げます。

五十嵐信子先生(計算実務) ↓ 五十年三月二十日付で御退職
岡部佐内先生(社会) ↓ 府立池島高校へ御転勤
他に非常勤講師の長沢紀子先生(英語)・青木一郎先生(書道) 辻功先生(数学)・金井史先生(国語)がいずれも五十年三月三十一日付で御退職になりました。

〔新任〕

仲慶慶謚先生(社会) 立命館大 学卒
平岡弓里子先生(数学・物理) お茶の水女子大学卒
古本博子先生(数学・産休講師) 清友高校・近畿大学卒
他に非常勤講師として 湯村幸子先生(家庭) 入江雅一先生(商業) 田中和子先生(英語) 川口恵理子先生(書道)

母校だより

新しい年度を迎えましたが、別掲のように、富田八郎校長先生が御退職になり、その後任として、小西康弘教頭先生が四代目校長にまた教頭の後任には、安田圭造先生が、それぞれ内部から御昇任になって、学校は今新しい活気にあふれています。

府立移管問題もまだ表現はしていませんが、順調に進めば五十二年四月看板かきかえ、五十二年四月校舎移転の見込みという事です。次に学校内のことについてお知らせします。

- 一、職員(異動について)
 - 〔転退職〕
 - 松尾正美先生(家庭) ↓ 四十九年八月三十一日付で御退職
- 一、職員の異動について

- 教大(2) 大(2) 大阪音大・天理大・樟蔭女子大等(以上四年制)
- 四天王寺短大(13) 常磐会短大(13) 金蘭短大(9) 成蹊短大(9) 関西外語短大(8) 武庫川短大(4) 大手前短大(5) 帝塚山短大(4) 大阪女子学園短大(4)等(以上短大)
- 一、五十年入学者について
- 二七〇名定員に対して三三二名の志願者があり、競争倍率は最近では最も高い一・三二倍でした。
- 一、最近の生徒について
- 一般にのんびりムードで、クラブ活動等に特に顕著なものなし。文化祭、体育大会はクラス単位、ブロック単位の活動が盛んで、体育大会の応援合戦は年々派手になっているようです。
- 今年の体育大会の予定は9月21日(日)(雨天の時は9月23日(火))、文化祭は10月11日(土)10月12日(日)になっていきます。
- 一、その他の消息
- 〔ご結婚〕
- 中本新一先生 四十九年十月
- 松村(中沢)先生 四十九年十一月
- 相馬久敬先生 五十年三月
- 〔赤ちゃん誕生〕
- 樋口全毅先生
- 長男・陽介ちゃん 四十九年六月
- 和田(中川)淳先生
- 長男・幸大ちゃん 四十九年十二月
- 富田隆文先生
- 長男・耕平ちゃん 五十年二月
- 東国恵先生
- 二男・俊作ちゃん 五十年三月

新旧校長歡送迎会のお知らせ

今春、清友を御勇退された富田前校長先生を送って名残を惜しみ、新しく就任された小西新校長先生を迎える会を、左の要項で催します。

とき 五月二十五日(日)

午後三時

ところ 八尾大黒殿

会費 三五〇〇円

〔会費費 二五〇〇円
記念品料 一〇〇〇円〕

御参加希望の方は總會終了後、会場へ御一緒に参ります。

申込み方法

御希望の方は五月一五日までに会費を添えて左記までお申し込み下さい。

〒577 東大阪市足代新町二一四八

河合 聿子

(電) 七八一〇五九七

なお当日は不参、記念品料だけをという方は、会費一〇〇〇円を添えて、その旨河合会長宅まで御申し込み下さい。

以上のようにきめましたので、会員諸姉の多数御参加をお待ちしています。先生におなじみの深い卒業生の顔が一人でも多く見えることは、先生への何よりの温い銭けと存じます。

富田先生ご退職

新校長に

小西先生ご昇任

母校清友高校三代目校長富田八郎先生はさる三月三十一日付で御退職になりました。

富田前校長先生は香川県のご出身で、県師範をご卒業後昭和五年郷里で教職生活に入られ、のち東京高等師範学校に進まれ、ご卒業の昭和十七年ご来阪後は、旧制の八尾中学校等で教育に携われ、その後八尾市役所にご転勤、八尾市立公民館長を勤めておられた昭和四十年一月、清友高校に教頭としてご就任、先代校長吉持先生ご退職のあとを受けて、昭和四十二年四月、校長にご昇任になり、この間、郷土史の研究や地域の発展に寄与されながら本校の教育に情熱を傾けられ、特に府立移管については、その実現のために献身され、清友高校で十年三か月、学校長として八年の長きにわたって教職生活の最後を飾られてご勇退されたわけです。

前校長先生が御退職になりましたので、その後任として、小西康弘前教頭先生が四月一日付で四代

目校長に御昇任、また教頭の後任には同日付で商業科の安田圭造先生が御昇任になりました。

小西校長先生は神戸大学をご卒業後、高田商業高校教諭を経て、昭和三十二年四月、清友高校にご着任、昭和四十二年四月、教頭に御昇任になって今日に至られました。

安田教頭先生は大阪工専（現府立大）をご卒業後、布施三中・布施工業で教壇に立たれ、さらに旧制の大阪商大（現市立大）に進まれてご卒業後、叔父さんの会社に勤められました。昭和三十一年九月清友高校にご着任になり今日に至られました。

一期生 はだ・あつみ

富田校長先生がご退職なさるといふ、この四月でおやめになると聞く。思いがけないこと、ご心中には早く決めておられたのだろうが、私たちにはやはり、シヨック!!

いっぺん学校へ走ってゆかなくては、校長室に座っておられる先生にもう一度お会いしなくては、と思いながら、わずか一時間で走る学校へ、その一時間がとれなくて日だけが走り去ってゆく。

母校清友はこの春でお三方の校長先生をお送りするわけだ。

開学の生田校長：戦時下の新設校開校、戦後の学制改革、名実ともに産みの親としての辛苦をなされた。

吉持校長：私学から八尾市立になるまでの、思い出すさえ胸をえぐられる、あれこれのいきさつをふまえてのご苦勞であった。

その吉持先生を援けてこられた富田校長はようやく落ちついた学校をゆすぶる第三の難関―府立移管と男女共学問題―に立ちむかわれた。内外の政治的なあれこれ、長い時間と紆余曲折を経て、ある程度のもどがついたから、あとは学外からバックアップしようとお考え下さっていると聞く。

私たちの母校って、何と手のかかる娘なのでしょうね。富田先生、ちつとも出来の悪い子ではないし、

素直ないい娘だと思っただけけど、

でも「手のかかる子ほど親はかわいい」のたとえがあるように、富田先生も清友に「のめりこみ」ご自分のことは二の次になるほど「べたべた」でいらつしやった。

（当節よりの云い方をすれば）先生のお長い教育歴の中で、女の学校というのは清友がお始めてではなかつたらうか。

ムードをお持ちだった先生、実はお目にかかったはじめ、一瞬めんくらいい、それから、なるほどこれがオヤジの味なのだと思つたこともあつたようでした。

オヤジ先生のご苦勞のおかげで清友は三度び難関を乗り越え、次の脱皮を無事終えて新しく成長できるでしょう。

オヤジ先生、ありがとうございます。これは過去形ではないのです。まだこれから、娘のために側面からいろいろめんどうを見て頂けるよう、進行形のごあいさつです。

ずっとお続けになるとき、郷土史ご研究のかたわら、よろしくお願ひいたします。ご本をお出しになるときの原稿はこび使い走りは喜んでさせて頂きますから：

こんなことを云いに私は校長室へ走ってゆくつもりだったのかな……ほんとは、ドアをあけて、オヤジ先生、それは聞えないよう小

さい声で）コンニチワと云い、ニコニコとして、ペコンと頭をさげて、お元気でと、それだけがやつとで帰ってくるのだろう。

富田先生、さよならは申し上げません。先生はいつまでも清友のオヤジであり、私たち会員にとつてのオヤジ先生であつて頂けると思っていますから。

私には六千人の

娘がありますと

おつしやる

富田校長先生

占春会会長 河合聿子

三月も終り近い或る日、PTA会長森田さんから、富田先生ご退職なさるとお聞きし、驚きのあまり、すぐさま先生のお宅へお電話しました。先生がご退職なさる時は、私も次の方にバトンタッチする時と心に決めておりましたのに何もおつしやらずにお退めになるで下さつた物理の中村先生、昔と

ちよつぴり 淋しい春



とは、お恨みします。というのが、私の電話での第一声、だが先生のお話をうかがっている内に、私になにも言えなくなりました。それは、母校清友高校の将来をお考えになられての事であり、職を退かれて後も清友の府立移管、校舎建設、又私達卒業生と約束した清友の名前を守るため、今後、全力を尽して側面から働きかけたという強い決意の程をうかがって、先生が清友へかけられる、はかり知れない情熱の深さに、又又胸打たれる思いでございました。

特に印象に残った今年の卒業式校長先生は一人一人の生徒に卒業証書を手渡され、そして一人づつに握手をして、別れと励ましの言葉をかけておられました。毎年卒業式には参列しておりますが、今年程感動した卒業式は始めて、人の心と心のふれあいの美しさに、とめどなく流れる涙を押える事が出来ませんでした。その時すでに決意しておられた先生のご心中、いかばかりであったらうと、

又、先生は同窓会の総会の時には、どんなにお忙しい予定があっても必ず出席して下さい、その日の出席者の数まで気にして下さい、暖かいお心遣い、先生直筆の、和と書かれた色紙を頂戴して、今でも時々思い出しては座敷にかけております。

ポツ／＼行くといふとあるが如く、どうぞ健康にはご留意なされて、いつか完成させたいとおっしゃる先生の史書の出来上る日を私達一同たのしみにお待ちしています。

永い間母校清友高校、そして占春会のためにご尽力下さいましてありがとうございます。私達は先生のご意志を継ぎ、新校長と共に、府立移管、校舎建設運動に全力をそ、いで頑張つて行こうと思っております。

占春会副会長 中易敬子

初代校長生田先生の代に入学、卒業した私は、吉持先生、富田先生と三代替られても、直接何のかわりもなく過して来ましたが、占春会の役を引受けた時点で、度々お逢いする機会に恵まれ、ある意味で在校生達よりも、親しく、近しいふれあいであったと、感謝しています。

ここにこと暖いまなざしの内に秘めたる人格者、教育者としてのゆるぎないお人柄、その上、いつも心易く言葉をかけて下さるので、つつい甘えさせて頂き、先生直筆の色紙まで丁戴しました。又私事で申しわけありませんが、私の園の30周年、35周年記念式典の折に、公私ともにお忙しい中を列席祝辞を下さるやさしいお心遣いで賜わり本当に嬉しく思っています。

す。有難うございました。

占春会の事についても、親身になって協力下さり、又この度の府立移管問題についても、日夜ご心労なされ、卒業生にとっても心丈夫さ以外の何ものでもありません。府立移管実現を前にして、学校を去られる事は、大変お心残りだろうと思いますが、先生の大きいなる深慮が実るよう、在校生、占春会、PTA、清苑会が一体となつて、一日も早く清友高校の新らしき夜明を迎えたいと願っています。

どうぞ健康に留意下さり、私達の清友のために、お力と知恵を借して下さる様、おねがいします。本当に永い間、有難うございました。

村井喜美子 (五十年卒)

私が今一番残念に思う事は、高校生活の最後の思い出となるはずの卒業式に受験のためとはいえず、出席できなかつた事です。ですから、校長先生の手から卒業証書もいただけませんでした。その事もたいへん心残りです。私達の中学校の校長先生は、あまり生徒とは交わりがなく、そのせいか私達は高校に入学するまでは、校長先生というと少しいばつていて、何となく話しくいといふ先人観があつたのですが、富田校長先生はほんとうにやさしくて校長先生というイメージとは、ま

ったく違つた印象を受けた事を、今でもはつきり覚えています。

たとえば体育祭の時には、生徒の中にはいつて一番最後であるにもかかわらず、一生懸命走つていらつしやる姿を見て私達は、思わず拍手をして「校長先生、ガンバッテ、」と歓声をあげた事もありました。

又、文化祭の時には私達が何か失敗をしても必ず最後には、「皆さんほんとうによくガンバッテくれました。」と言つてくださいました。その校長先生の御言葉が私達にとつては、どんなに励ましとなつた事か。

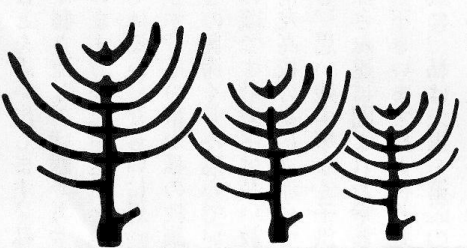
校長先生の御退職は、たいへん寂しく悲しい事ですが文化祭や体育祭での校長先生の御言葉や、校長先生の生徒に対する思いやり、やさしさは、私達が社会に出てもいつまでもいつまでも心に残る忘れられない思い出にしたいと思います。

ご挨拶にかえて

松尾正美

会長様初め会員の皆様、今日は、お元気におすごしのことでしょうね。

私は昨年の八月退職させて頂き十二月三日に、大阪に生まれて六十年数々の思い出ともサヨナラ致しまして、埼玉の子供のもとに参りました。お蔭様で元気で子供や孫達に囲まれて一人ぐらしの淋しさもどこえやらすべてにちがう環境の中でトマドイながらも私のこれからの生活に少しでも早くつけこみたいと懸命にはげんでおります。といえ資格がいいのですが、実はこの三ヶ月余りは、昭和二十年以来子供二人とガムシヤラにすごして来て今やつと、ホットした心境で何も手につかず何だか忘れていた自分をポツポツ取りもどしているような、それでいて中空にフワット浮き上つたような自分が無の状態におかれていたような変てこな気持ちの中ですごしていたようにも思います。そんなわけで悪い頭がよけいボケても困ると次のような本も読みましたが、「食生活革命」「おてんば七十年」「女性と年金」かつて退職を心に決めてからは「良い老人に」なるためにと、ずいぶんいろいろな本をアサリ読みましたが、中々むつかしいで



すね。それで今は「良い老人」ではなく「美しく老いたい」「上手に年をとる」ということを考えることにしました。

人間はいくつになっても勉強ね。人生一通りすべてが未知の世界を歩むわけですからね。モット、モット、つましくなければ「キラワレル、ババー」にもなりかねませんからね。

どうぞ皆様も一つしかない、一度しかない我が人生を大切に大切になさって下さいね。

なんだか変なご挨拶になりましたが、そんなことで、とにかく元気に私なりに希望を持ってやっておりますので他事ながら御休心を。

合せて今後共に御交誼の程よろしくお願い申し上げて失礼させていただきます。 50・3・28 記

「恩師をしのぶ」

(二十八年卒)岡 博子

三月の桃の花から、四月の桜の花に季節は、さわやかに移って、まいりました。

今年も高校入試も終り、晴れて合格なさった新入生は、希望に胸ふくらませ、母校に入学されること

でございます。春に過去を思い、新思更に活機を呼ぶという言葉がございます。まさに三月は、過去を思い、そして次に来る盛春に一段の飛躍を考

えるときでもございます。私も、数年前なんとすばらしい環境の中にある学校だろうと、感激に胸おどらせて入学した頃が、懐かしく思い出されます。

さて私達が、松尾先生に担任を、もって頂きましたのは、二、三年生の二年間でございました。

とりわけ私は、家庭科コースを、選択しておりましたので、特に先生には、一方ならぬお世話になりました。 最初入学時は、とても

厳しい先生のように記憶しております。と言いますのは、合格発表後、先生は当時、生活指導部長を

なさっておられた関係で、校則や制服について、事こまかく厳しく注意なされたからでございます。

けれども担任を、持って頂いてからは、私達の意見や考えをよく理解して下さるとても、物わりの

良い先生だという事が、わかりました。それは、丁度母親のような

気持ちで、クラス全体を包みこむような感じでございます。

先生は早く、ご主人を亡くされ、敗戦後の困難な時代に、お二人のお子様を、お育てになり、とても御苦労がございました。でも授業中には、

ほほえましいご家族のお話が、よくとび出し、とりわけご主人の思い出話には、私達はよくあてられたものでございます。そして物事

としての教養を身につけさせて下さり、ありがとうございました。いつまでもお元気で過ごし下さるよう心から願って止みません。

私の「セカンド・マザー」

松尾先生を思う。

竹内美保子(旧姓四本)(33年卒)

桜咲く三十年四月、乙女の胸をふくらませて母校に入学した時、私

はこの学校で学び遊ぶ三年間が、私の一生で一番大事な時期だと思

いました。そして私の担任となつて頂く先生に子供じみた気持ちも

知れませんが期待と不安を抱いていました。少しひんやりした教室

で始めて先生と顔を合せた時、母の様な暖かさを感じ不安は大きな

安心へと変わり、これから続く三年間の学園生活に明るいものを感じ

とる事が出来ました。そして先生のお話や素振からにじみ出る教育者としての厳しき教育に打込ま

れて来た情熱のほとばしり、その裏に女として又母親の様な優しさ暖かさを私は見た様に思います。以

さったことを思い出します。私などはただ聴き流しの状態であった様に思います。今思い返すと「ま

た云ってはるわ。ぐらいに思っていた様です。その事が私の教訓となつて心の奥深くしみ込んで

今日此の頃です。先生は長い教職生活を清友高校の為に立派につらぬき通し、思い残す事なく子供

さんやお孫さん達に囲まれお幸せにお過ごし下さいます様お祈り致しますと共に、私は先生を第二の母

と思つて心よりどころにしたいと思つています。ただ学校に行けばいつでも逢えると思つていた私達がお逢いする事が出来ないのは

本当に残念に思います。

~~~~~

竹原礼子(48年卒)

アツ、松尾先生ノと思つてお辞儀をして顔を上げると、いつもの通りあのスマイル。

膝元にすがりつきたい様な、甘えたい様な気持ちになるのです。先生とお別れして暫くになりま

すが、在学中、又、卒業後の事、色々の中で、やはりあのすばらしいスマイルの立姿が浮んできます。

私が入学して、松尾先生が担任下さるクラスと決まった時、姉達から、大変きびしい先生だという事を聞きました。私はそんなにこわいと思つた事は有りませんでした。が、女性としてのちよつとした心がけについて

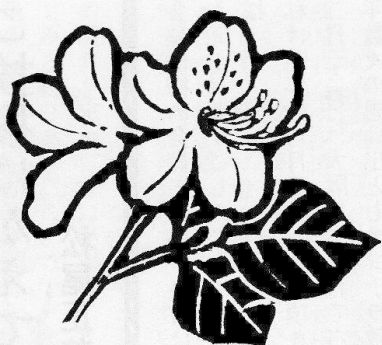
はよくいわれました。

松尾先生の授業の中では保育の時間がとつても楽しみで、私達女性が自信を持って生きていく為の心構えなど、いつも興味を持って教わりました。

そして、心にグツときた言葉など、いつもノートしておきました。今でも時々開いてみるのですがそのたびに感銘し、励まされるのです。

今、先生は遠く埼玉の方に居られますが、お孫さん達と大変幸福にお過しの由、父から聞いております。早速、近況報告の便り致します。

松尾先生の御多幸お祈り致します。



会者定離

西沢 小枝

また生駒嶺の霞も頃がめぐつて
きました。この美しい自然を眺め
ながら、私は幾歳月を過したとこ
でしようか。永い歲月の間に、あ
の先生も、あの人達も皆遠くなつ
てしまいました。ふと気がついて
みると、私がただ一人高安道をと
ぼとぼと歩いているのです。清友
で過した三十余年の私の半生は、
思えば多くの友、先輩、生徒との
出会いと別れの連続でありました。
一年で別れた友もあれば、二十余
年学校生活や家庭生活の苦楽を共
に分ち合つた友もありました。
何も残すことは出来なかつたと大
きな悔いを抱きながら、一方私の
生きる支えであつたと限らない感
謝と共に思い起こす多くの教え子
が居ります。皆遠くなつたのでは
ない、いつも私の心に生きていて
といきかせながら、やつぱりい
つかは別れなければならぬ寂しさ
が感じられるこの頃です。最近こ
の思いが一入深いのは、四十八年
に吉田節子先生に永訣した後、こ
こにまた新しい別離の思いをかみ
しめなければならぬ事が起つたか
らです。それは昨夏、松尾先生が、

今春富田校長先生が学校をお引き
になられたことです。

* * *

松尾正美先生は昭和二十五年八
月、まだ三十代の若い家庭の先生
として赴任してこられて以来二十
五年、お母さん先生といつた柔か
い感じと、何事もいい加減にすま
さないきびしさとを持つたすばら
しい先生として、多くの子女の人
間教育に力を注いでこられました。
朝起きた時まず自分の顔を整える
ことが一日の人間関係を和やかに
する手はじめという意味で、「朝顔
づくり」といわれたことを思い出
す方も多いと思います。

また二十五年の歲月は、お二人
お子様を抱えての先生づつとめでさ
ぞ大変な御苦労の連続だつたと思
います。皆さんは、先生の健げな
生き方の中に、女として母として
の生き方を感じ取られたこととし
よう。卒業して妻となり母となつ
て先生の教えがほんとうに身にし
みて解つた方も多かろうと思いま
す。昨年、人生の半ばを自分達の
為に苦勞しながら生きてこられた
母上を、この辺で休ませて上げよ

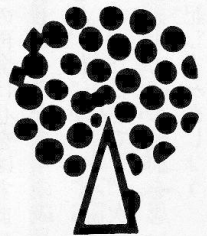
うという、お二人の坊ちゃんの優
しい心遣いを受けて、東京のお子
様の許へ帰られました。長年の労
苦が報いられた母としての栄光の
日でありました。私個人としては、
先生とお別れしなければならぬこ
とは寂しい限りではありませんが、
先生の為に心からの祝福をおくり、
新しい生活の中で、いつまでも昔
の元気を失わずお幸せいっぱい健
康に過されるよう祈つております。
そして時々大阪にお里帰りされる
ことをお待ちしております。

* * *

富田八郎先生は、教頭川畑茂先
生亡きあと昭和四十年一月 教頭
として赴任してこられました。翌
四十一年秋は清友創立二十五周年
市立十周年を迎え記念行事や記念
式典を行うなど、事の多い中で吉
持校長をよく扶けてこられました。
翌四十二年春、吉持博先生は御病
気の為、「私は清友をこよなく愛す
る。」という辞を残して清友を去ら
れ、富田先生がその後を受けて校
長になられました。爾来十年間、
三代目の校長として、よき清友の
伝統を受けつぎ、益々清友を發展
させる為力を尽くしてこられました。
た。先生方が仕事のし易いよう
やかな雰囲気を作り、温い人間味
溢れるお人柄で、生徒達に接して
一人でも多くの生徒の心に触れよ
うと努力されました。

で、清友もそれに遅れをとらぬよ
う、男女共学にしようという問題
が起つたことでした。先生は、八
尾市立の女子高として存立する清
友へ吉持校長の後を受けてこられ
た以上、それでは男女共学にしよ
うとそう簡単に志をお変えになれ
る筈はありません。時には、先生
方と意見の対立もあつて、大変お
苦しかったことだろうとお察しし
ていました。ところが四十七年頃
から八尾市長、教育長も清友を府
に移管して男女共学にする意見に
賛成され、ここで全職員心を合
せて清友を府に移管する方向に進
んでまいりました。それからP
TA、清苑会、占春会、職員生徒
は校長先生を中心に、その実現の
為に力を合わせて努力を続けてま
いりました。

その願いが実現する日まで、先
生は清友に止つていて下さるもの
と思ひこんで居りましたのに、今、
突然御退職のお知らせを受け、た
だただ驚愕する許りです。特に私
は、同年輩の仲間吉田先生が逝か
れ、松尾先生が東京へ去られて心
細い中で、校長先生が「五ヶ月ち
がいの兄さん」で居て下さるので
頼りにしていましたのに……。会
者定離の理りを今更のように寂し
くかみしめています。私情におい
てはもう少しいて頂きたいと思ひ
ますし、先生も清友が府に移管さ
れて再出発を見る日までと思ひ
のことだろうとお察しいたします
が、清友がやがて府に移管される
日の為に色々お考えになつた上、
ささやかな私情をのり越えて最上
の道をお選びになつたのだろうと
考えますと、その深いお考えの前
に頭を下げずにはおられません。
先生ありがとうございました。
第二の危機に立つた清友を将来の
見通しのつくまで、よく守つて下
さいました。清友を去られても、
先生は外から清友の為きつと力に
なつて下さること信じてやみま
せん。思えば今年の卒業式は先生
にとつて最後という感慨がありが
だつたのでしようか。卒業生一人
一人と握手をかわし、ことばをか
けながら涙ぐんでいられるような
けはしいが、私達にまで伝つてきて
感慨深いものがありました。卒業
生もあの時の先生の手の温かみを
いつまでも忘れることは出来ない
でしょう。清友が新しい出発をす
る日まで、しっかりと見守つてい
て下さるに違いない先生の温容を心
に抱きながら、惜別の情をこめて
この一文を認めました。



学 園 時 代 旧 職 員 住 所

(順不同)

氏 名	郵便番号	住 所	電 話
山家 鉄五郎	4 4 2	愛知県豊川市為当町仲上21	竹本正治様方 0 5 3 - 3 7 5 - 3 3 2 8
斎藤 順子	5 8 1	八尾市安中町9-1-4	0 7 2 9 - 9 2 - 2 0 3 6
高村 信子 (大津)	5 9 6	岸和田市岸城町23-29	0 7 2 4 - 3 1 - 0 9 1 8
高平 好子 (尾崎)	6 3 4	橿原市石原田町225-12	0 7 4 4 2 - 5 - 1 2 8 7
鉄谷 博	5 4 3	大阪市天王寺区堂ヶ芝町68	
鉄谷 佳子 (萱野)	〃	〃	
〇櫻根 千代子	5 4 4	大阪市生野区勝山北4-1-11	0 6 - 7 1 7 - 1 6 0 7
末 トマ	5 8 1	八尾市西山本町4-10-26	0 7 2 9 - 2 2 - 8 5 3 9
長谷川 武	5 7 6	交野市私部1600	
〇羽田 敦	5 6 5	大阪市城東区今福西4-2-27	0 6 - 9 3 9 - 6 3 1 0
〇金沢 和雄	6 6 2	西宮市上甲東園3-7-6	0 7 9 8 - 5 1 - 0 7 1 1
〇小田 英子	5 4 3	大阪市天王寺区堂ヶ芝町90	0 6 - 7 7 1 - 0 5 1 9
〇中岡 博美	5 7 8	東大阪市本庄三島574	0 6 - 7 4 4 - 2 8 2 0
中本 毅	5 8 3	羽曳野市南恵我荘2-9-16	
〇中村 邦治	5 8 1	八尾市光南町2-3-10	0 7 2 9 - 2 2 - 6 2 7 9
〇西岡 徳次	5 8 0	松原市上田町178	
児玉 節雄	5 8 1	八尾市本町2-13-11	0 7 2 9 - 2 3 - 4 3 9 4
本田 勝久	5 5 8	大阪市住吉区我孫子西3-40-1 我孫子コーポA503	0 6 - 6 9 4 - 8 9 2 7
〇本田 博子 (内海)	〃	〃	
〇内田 伊都子 (羽瀬)	5 6 7	茨木市総持寺台21-103	0 7 2 6 - 2 2 - 0 0 4 0
〇境田 喜美 (横山)	5 8 9	大阪府南河内郡狹山町西山台1-18-3	0 7 2 3 - 6 5 - 3 5 2 6
〇荒井 伸一	5 7 3	枚方市禁野本町2-11-1333	0 7 2 0 - 4 3 - 8 1 5 6
実野 竜子	5 4 0	大阪市東区法円坂住宅5-21	
西村 喜美子	5 4 5	大阪市阿倍野区昭和町5-1-12	
赤尾 整志	5 9 0	堺市旭ヶ丘中町2-35	0 7 2 2 - 4 1 - 7 7 0 7
〇西田 ハナ	5 8 1	八尾市柏村100-17	0 7 2 9 - 9 6 - 4 0 2 0
有本 繁	5 8 1	八尾市山本高安町2-10-10	0 7 2 9 - 9 8 - 2 2 3 1
〇吉村 庸子	6 3 5	大和高田市三倉堂408	0 7 4 5 - 5 2 - 3 6 0 2
〇大竹 良江 (村井)	6 3 6-03	奈良県磯城郡田原本町宮ノ森205-1 笠縫団地	
〇松尾 正美	3 5 4	埼玉県入間郡大井町亀久保160	0 4 9 2 - 6 2 - 3 2 7 7
五十嵐 信子	5 8 1	八尾市本町7-3-8	0 7 2 9 - 9 1 - 2 9 2 9
安田 圭造	5 1 8-04	名張市桔梗丘3-3-64	0 5 9 5 6 - 5 - 0 5 3 3
内田 孝雄	5 6 7	茨木市総持寺台21-103	0 7 2 6 - 2 2 - 0 0 4 0
〇松本 寿子	5 8 1	八尾市柏村202-2	0 7 2 9 - 9 7 - 6 6 3 4
〇西沢 小枝	5 3 5	大阪市旭区生江2-2-21	0 6 - 9 2 1 - 1 9 0 5

楽しかった
旧職員のつどい

いつも学園時代の仲間が顔を合
わせると、清友で共に過した者ば
かり相寄り、旧交を温めたいと話
しあっていましたが、なかなか実
現の運びに至りませんでした。と
ころが、四十九年七月中旬のある
日、思いがけなく次のような便り
が旧職員の手許に届きました。

いつの間にか歲月は流れ、清友
で共に過したあの日は遠い昔のこ
ととなりました。その後御健勝に
おすごしのことと存じます。

長い歲月の間にはいろんな事が
ありました。清友もここ二三年で
府立移管が実現し、男女共学が実
施されるときいております。また
学園時代を共に楽しくすごした英
語科の吉田節子先生が、昨年六月
二十七日急逝され、淋しくなつた
ところへ、家庭科の松尾正美先生
がこの八月に御退職になり、東京
の御子息の所へ行かれることにな
りました。そこで松尾先生がまだ
大阪におられる間に、学園時代な
じみの仲間が相集り、清友の現状
や将来のことを聞いたり、昔語り
に旧交を温めあったりしたなら、
どんなに嬉しがるかと存じます。

よつて左の要項で今度学園時代の
仲間の会を持つことになりました。
いつも会えるようで、皆が一堂に
会する機会はなかなか得がたいと
存じますので、何はさておき、ど
うが御出席下さるようお待ち申し
上げます。

一、日時 七月二十日(土)
午後四時—八時
一、会場 上六、近鉄パライド
下「あすか」



この春、御主人の転勤で大阪に
帰られた本田博子先生のお骨折り
で、長年の念願の実現となつた次
第です。待ちに待つた当日、集つ
た面々の何となつかしいこと、
何十年ぶりの再会に心はずませ、
頬を紅潮させて、二十余年の歲月
の流れを忘れ、昔にかえつてしみ
じみと語りあつたことです。次に
集まれた先生方のお名前を思い
出すまゝ、に記してみましよう。
お元気でこの会合をととも喜ん

ちつとも変らず、結婚の世話などで走りまわっておられる家庭の樞根先生、大阪に帰ってこられて、旧交を温めるのに忙しい家庭の本田先生、相変らずユーモアたっぷりの話しぶりで皆を笑わせて下さる英語の荒井先生、お二人のお嬢様の優しいお母様家庭の内田先生、お話好きの生物の中岡先生、お忙しい中を皆に会いたいと馳せ参じて下さった社会の金沢先生、ここにこ笑いながら話をきいておられる美術の西岡先生、なかなか会えないと思つていたなつかしい、国語の境田先生に英語の吉村先生、占春会の前会長で今も陰の力になつて下さっている国語の羽田先生、司法書士としてお働らきの英語の小田先生、すつかり白くなられたが、お元気な事務の西田先生、幸せにお過しの事務の大竹先生そして今度長年の労苦が報いられてお子様の許に落ちつかれる家庭の松尾先生、現職で旧い先生方とのつなぎ役、事務の松本先生に国語の西沢以上十七名の方々でした。

●三十年卒 世話人 有川育子 前田千恵子
 昨年八月、八尾の留園で開かれた同窓会に、十数年振りに出席しました。西沢先生、松尾先生、内海先生、羽瀬先生の昔と変らぬお元気なご様子に、ご挨拶も声にならず、涙で胸が熱くなりました。昔の良き時代の思い出話、子供の話、昔の教室の雰囲気そのままだに、楽しく話している級友の話に、時間を忘れて心の和む思いをいたしました。私を誘って下さった大野さん(亀井さん)、場所の設定やら諸事ばんたんをして下さった人達、有り難う存じました。今後共よろしく願ひします。

会 便り

同窓会

●八月十九日、一年に一回慣例のクラス会を、信貴山口ホトトギスの料亭で、西沢先生、斉藤先生、を囲んでたのしく開きました。出席者は十三名、みんな年はとつても、逢えば学生時代の年令にもどります。私達の年代にとつてクラス会は、最高の若返り法だなぁと感じました。みんな若やいだ気持ちで、いろんなおしゃべりに花を咲かせ、時間を惜しみ乍ら、夕方五時、解散しました。勿論、「来年も又逢いましょう。」と、口々にいい乍ら……。

学園六期生 横山豊子

●三十六年卒 A組

49年7月21日(日)PM3時から
 於 八尾すし半
 世話人 山添明子(長岡)
 木田良美(広沢)
 堂ヶ平淳子(已波)

同窓会をかねて、退職される松尾先生の送別会を開くことになり13年ぶりのことで参加者の数が何名集まるか心配でしたが20名が参加しました。松尾先生もお元気そうでしたしみんなも顔を合わせばやはりクラスメートの雰囲気ではがずみました。まず全員の近況報告と家族紹介をし、あつという間の二時間でしたそして最後に松尾先生の大好きな思い出の曲、「あなたと共に行きましょう」を全員で合唱しすし半を後に今度は八

尾天満宮で記念撮影をして午後六時前に解散しました。当日参加出来なかつた人達もこの次には是非にという連絡が多くあり出来れば一年に一回は同窓会を開きたく思っております。

●三十六年卒 C組

49年9月23日(月・祝)

世話人 森田、宮前、松尾
 十一回目のクラス会は久しぶりに郊外に出て万博広場へ。二世たちや篠先生夫妻を合わせて総勢37人が集まって、にぎやかに食事をしたり歌つたりで愉快な一日でした。二次会は広東料理のハママラで。三次会以下は不明？
 今年も森田、内間、松岡の三人が世話人で五月の連休に、はじめの宿泊旅行を計画しています。

●37年卒旧3C 植木功子
 45年の5月17日 仲山(辻)福島(山本)さん、お二人のアイデアで、大阪城二の丸に集つてから、年令的にみて保育所まがいのクラス会になるしばらくの間、この場所がいいわね、という事で、抜けた年もありましたが昨年まで五年間、五月頃になれば誰云うともなく、庭園の大本の下に集合してきたのです。帰り際の三時頃になつてから「お昼寝のタイミングが悪くて

と、十ヶ月位の坊やをつれて、あわててかけつけた方に、三時集合と思つたの？などと冷やかしかつら気楽にやってきましたが、でも今年には本格的なのを開きたいものと鈴木(野田)さんを幹事さんに、塩本さんと私がお手伝いして、五月十八日母校に集まる予定をしています。この会報が多分さきに届くものと思ひますので一言PRさせて頂きましたが、クラスの皆様にはその頃には詳しい、御一報を差し上げますので、全員参加して、旧三Cを再現したく考えています。どうかよろしく

●39年卒

日時49年10月27日
 ●場所 母校図書室
 ●出席者 33名

小雨ぱらつく中を、西沢、前岡宗平、篠の各先生に出席していただき、第二回39年卒全クラス同窓会を開きました。

先生、子供を合わせると総勢60名以上の賑やかさで学生時代に戻り、大いにおしゃべりを楽しんでいます。次回は来年あたりと思ひていますが、どなたか幹事お願いできませんか。

- 世話人
- A組山本昌代 B組増野清子
- C組吉原絹子 D組篠テル子

阿波 初子

●42年卒 三年C組担任相馬先生
49年11月10日(日)AM11時

母校 作法室にて

通算五回目のクラス会、前回に
続き母校の作法室にて開きました。
お天気にも恵まれ、殺風景な部屋
もお花の先生をさされている浦上さ
んの生けられた花一盛で、ぐっと
クラス会のムードを盛り上げまし
た。一年ぶりにお会いした相馬先
生は、ロングヘアとコンタクト
レンズですっかり若々しくなられ
ました。子供さんの七・五・三のお宮
参りを済まされて参加された松本
さん、山中さんはじめ初参加の方
が増え、十四名、先生を囲んで、
和やかにおしゃべりしました。

今回はクラス会報の第一号を、発
行しましたので、大変、記念にな
るクラス会でした。

次回は春に、中華料理でも囲みな
がらと、再会を楽しみに、お別れ
しました。

世話人 鍋島真由美

●クラス会 四十二年卒D組

49年6月30日(日)PM1時

於 大北京(ダイエウ橋店内)

世話人 山中正子

高木富美子

青野一美

鎮守先生を、囲み 18名が、近
況報告後、急速に、学生時代に、
戻った思いで、話が、尽きない程

おしゃべりしました。あいにくの
雨の中、赤ちゃんを、抱いて来ら
れた人、仕事も、そこそこにして
来られた人、大きいお腹を、かか
えて来られた人、本当に、楽しい
ひとときでした。再会を、誓い記
念写真を、撮って解散しました。

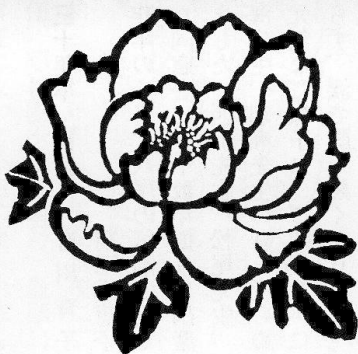


Photo by ...

●旧3年A組第2回同窓会44年卒
50年3月8日(土)PM5時30分
於 ナンバ 千日堂

世話人 奥野カヨ子

学校を卒業して、ちょうど6年
もう、おかあさんに、なられた人。
もうすぐ、なるであろう人。もっ
か一生懸命さがしておられる人。
みんな、忙しい時期で8名(南条
先生・6名の級友・Sさんの子供
)という少ない参加者でしたが、
南条先生を囲んで、暖かい鍋物を
食べながら楽しいひとときを過ご
しました。その時の みんなの気
持ちを色紙に書きました。

色紙内容 第2回 同窓会

●今回は少ない人数ながら、にぎ
やかな なつかしい一日でした。
又次の時にも来て下さいね。(HN)
●久しぶりに大笑いしました。と
っても楽しい ひとときでした。
次回も必ず出席します。まだ、ひ
とりの(T・A)

●あと22日で、かわいい奥さんに
なる予定です。(K・N)

●子供の私は、年の差を感じるば
かり。みな変身(T・H)

●久しぶりに、おしゃべりしまし
た。(M・O)

●ただいま2児のママ、次の同窓
会には...?(S・H)

●久しぶりに会うと、うらやまし
い話しばかり、私もガンバラナク
テワ!次に会うのは30才ぐらいか
しら? (K・O)

●46年卒業元3Cの同窓会(絆会)
を昨年秋十月二十七日に母校の作
法室をお借りして開きました。参
加数も二十一名と毎年同じぐらい
の人数が集まりました。まずまずの
出来でした。

●クラス会 46年度卒F組
昭和48年10月13日(日)

於 本町美々卯

まして、みんな彼のお話しやおシ
ヤレのことなどがさすが女の子と思
うようなオシヤベリを二時間ほど
もいたしますと、おなかのほうも
満腹になりまして今度はなつかし
い生物室へ席をうつしました。生
物室では一人一人の近況報告や会
社でのことなどを話しあつて三時
頃にお開きといたしました。

幹事 田中喜代子
山本桂子

●四十七年卒 旧三年F組
49年6月23日(日)PM2時より

母校作法室に於て

集まった友17人。

簀先生御一家と一緒に、御寿司
を取り、手作りのデザートでテ
ブルをにぎわしての楽しい語らい
や、近況報告の中で、赤ちゃん誕
生間近のヤングママもいたり、皆
それぞれの道で頑張っている様子
でした。そして最後に幹事を輪番
制にする事を決めたり、それぞれ
の思いを寄せ書きにしました。

なつかしくうれしい気持ちっぱ
いでうつつうしい雨を吹き飛ばし
てくれる様な楽しい一日でした。

幹事 竹原礼子
田中君枝

先生もびつくりなされたことと思
います。
おすしとお菓子に飲み物をつまみ
ながら四テーブルほどをこしらえ

偲び草

悲しみ

津田美子さん

(42年卒)

昭和五十年三月十八日、思いがけぬ事故(ガス中毒)でまだ未来のある若い生命を絶たれました。

伊藤恵美子さん

(27年卒、旧姓平田)

昭和五十年三月十九日、御主人と、高校、中学在学の二人のお子様を残して、急病で亡くなられました。

お二人の急逝は、知る限りの人々にこの上ない哀しみを残しました。左に旧友の方の追悼の文を掲げます。

亡き津田美子さんを偲んで

宮田仁美

私の中学、高校と通じての友人であった津田美子さんがガス中毒で死亡、それを知ったのは三月十八日何げなく付けていたテレビから流れたニュースでした。一瞬、

ハッとしたのですが、まさか彼女だとは思わなかったのです。いえ今思うと、そんな筈はない、と心の中で打ち消していたのかも知れません。津田さんとはもう四年程お会いしていなかったのですが、突然の電話をもらったのは昨年、十一月の終りの頃でした。十月に行なわれたクラス会でも出席されなかったので十二月始めに八尾の方へ行くので私の所へ寄りませうとの事で楽しみに待っていたのですが、この時もどういふ訳か来られなかったのです。今となると、残念でなりません。

二十日のお葬式は、それ迄ずっと良いお天気だったのが、この日に限り、小雨がパラつく肌寒い日でした。彼女が笑えんでいる写真を見てもとても信じられず涙がこぼれてなりません。美子という名の通り、美しい人で絵画を好み、自ら絵筆を握り、卒業アルバムや編集に大活躍したり、文化祭の時など得意の大きな絵を描いたり、小道具を作ったりしていた姿を思い出します。最後にB子(彼女のニックネームです)の御冥福を心から、お祈りいたします。



伊藤恵美子様の死を悼んで

去る三月二十一日、あの日は春一番の先駆かと思われる様な風の強い寒い日でした。

突然の、あなたの訃報は、正に青天の壁礮。あんなに元気で、一昨年の夏、同窓会でお会いした時には、将来の為に洋裁を始めたこと、二人のお子様を残して突然この世を去られたとはどうしても信じることが出来ませんでした。

どうしてこんな事に、何かの間違いであってくれたら、何度も心の中で繰り返したものです。

告別式に駆けつけられた西深先生始め、懐しい友の顔にも同じ思いが――。

長い髪をいつもきれいに三つ編みにした。健康そうな笑顔、太く張りのある声、共に過した学び舎の日々が昨日の事の様に鮮明に去来し、唯呆然と立ちつくすのみでした。

その髪を毎日結われた母上、後に遺されたご主人やお子様の悲しみはいかばかりかとじます。

白木の位碑を胸にしつかりいただき、悲しみに打ちひしがれながらもけなげに嗚咽を噛みしめられるご長男と、こらえきれずに号泣な

さるお嬢様の姿が、いつまでも心に残り消えやらないのです。こんなにもお子様から慕われ、多くの人々から惜しまれながら、あなたは永久に私達の手の届かぬところに去ってしまわれたのです。

どうぞ安らかにお眠り下さい。そして、二人のお子様、この深い悲しみに打ち勝ち健やかにご成長下さる事を心から祈って止みません。片上

編集後記

回期代表の皆様、役員の皆様、御苦勞様でした。お蔭様でいい会報が出来上りました。

△住居表示変更及転居された方、結婚された方は回期代表迄ご連絡下さい。

△今年には級会だよりがたくさんありましたので非常に喜んでいます。今年も級会を開かれる方は詳しく記録をして下さい。

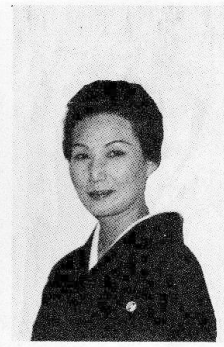
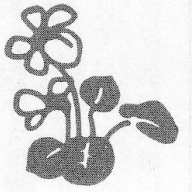
△名簿作成の折、広告の御依頼に伺います。その節はよろしく。

△来年の会報作りに役立つ原稿や良い写真等がありましたら役員迄御連絡下さい。

△商売やお店の宣伝をされたい方は御一報下さい。

母親

随想



21年卒 河合 隼子

進路指導の先生に希望される高校はときかかれた時、清友高校ですと答えると意外な顔付きをされた先生に、何故ですか。とたたく込むように問いかけた私の声は相当とげのある声だったようである。私の母校ですから、あの学校の素晴しさは、私が一番よく知っています。とはつきり申し上げた。合格発表の日、午後一時合格者全員父兄同伴で集合する。校門には各クラブ全員が整列、おめでと

その次に袋の中から出て来たのは、入学式までしておく数学の問題集と、宿題として、わが生いたちの記。原稿用紙十枚以上に書いて提出するようにとある。私は喜び、娘は驚く。

いよいよ待ちに待った入学式。四月八日。昨夜来から降りしきる雨の中、清友の制服を来た娘を濡らそうまいと、大きな蛇の目傘をさしかけて、高安駅から学校までの路をいそぐ、恩智川の両岸の桜は満開で、続々とつづく新入生親子を祝福してくれているように思えるのでした。

いつもなら来賓として参列する入学式が、今日は立場が変わって、母親として列席する。なんと面映ゆいことだろう。在校生を後輩として眺めたのが、今日は娘の先輩として在校生を眺めるわけで、校門も先生方も、数倍大きく私の眼に映るのだから、不思議な事だと思ふ。

しーんと静まり返った講堂に、小西新校長先生のご挨拶、私は皆さんに入学を許可します。とおっしゃった先生、一語一語噛みしめるようにはつきりご挨拶なさる先生は、誠にご立派で、僅かの間だけ、占春会の河合に戻り、お言葉を押聴させていただいた。

さて又、親の立場に戻り、今年はまだ一人卒業生のお嬢さんが入学しておられる。27年卒、小山さん(旧姓松本)のお嬢さんで、行儀よくきちつとご挨拶される。六年

後輩の小山さんの学生時代は存じあげないが、セーラー服時代の小山さんもこのような方だったのだろうと推察いたしました。これからたびたびお逢い出来るのもたのしみの一つ、

だんだんと広がる水の輪のように、生活の周囲を見廻せば、なんと清友とつながりのある人の多いこと。

娘の中学校に体育の先生をしておられる。41年卒の内間美也子さんピリッと辛子をきかせて、生意気な男子中学生をピシピシ指導しておられました。

私の店(呉服屋)のお客様で、安威さんのお嬢さんお二人と、妹さんの山野さんのお嬢さんも清友在校生、やがては占春会でも活躍して下さるだろう。

毎日元気に登校して行く娘、帰りを待ちわびる私、お母様、今日始めて西沢先生の授業があつたの、あの先生優しいわ。担任の井上先生ね。奥さんも学校の先生だったのよ。入学式の時、先輩の人達に人気のあつた篠先生の授業、早く受けてみたいわ。だとか、母校便りに満ち溢れる我が家は、幸せ一ぱいです。娘の名は、

河合祐子。身長一五三センチ、趣味、馬術、茶、花、

特技、琴、三絃、成績、今はわかりません。

まるで釣書のようにですね。どのように、清友のカラーに染まっ

会報を発送してホッとする間もなく、ドサリドサリと出した郵便が戻ってきます。会員の皆様方、住所変更、ご結婚等で姓の変られた方、必ず下記役員名簿一覧表中書記の松谷・寺島・中西の各姉か、それぞれ卒業年度の回期代表宛ご一報下さい。会報が皆様の手に行き渡ります様に……協力して下さい。

占 春 会 役 員 名 簿

Table with 4 columns: Name, Address, Phone Number, and Role. Includes names like 子子子 (村田), 和敬 (上田), 易敬 (本田), etc., and a section for 50th Anniversary Representatives.